

市長あいさつ

皆さま、こんにちは。

昨日、3月22日に早稲田大学マニフェスト研究所が実施をいたします「議会改革度調査2022」の調査結果が発表されました。取手市議会は全地方公共団体議会の中で第2位を獲得することができました。

昨年、そして一昨年の全国第1位に続き、3年連続でトップスリーへのランクインとなりました。これも、ICTを積極的に活用した住民参画や議会機能の強化に取り組んでこられたことが評価されてのことだと存じます。

市におきましても、議会とともに市政発展に努めてまいりたいと存じます。

さて、同じく昨日には、WBCの日本優勝をお祝いするかのよう
に東京でソメイヨシノの満開が発表されました。

市内には、ソメイヨシノのおすすめスポットが多くありますが、取手市岡にございます「さくら荘」もその一つです。

さくら荘では、週末の25日、26日の午前10時より午後5時まで「さくら荘 さくらまつり」を開催いたします。

さくら荘で開催しております生きがい教室の書道や絵画の作品展示のほか、取手市と友好都市協定を締結しております群馬県みなかみ町のおくだいら奥平温泉のお湯に入浴できます。

また、さくら荘では開花時期にあわせまして、昨日より4月上旬ごろまでの毎日、午後6時から午後9時まで約80本の桜のライトアップを行います。幻想的な夜桜を楽しんでみてはいかがでしょうか。

市ではホームページ内の、とりでMOVIEにおきまして、桜の名所や菜の花など、春を感じる情景を動画で紹介しております。是非、ご覧いただければと存じます。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、取手駅東口に屋外式コンテナ型喫煙所を開設することについてでございます。

取手駅東口の公衆喫煙所につきましては、これまでパーティション型の喫煙所を設置しておりましたが、設置場所を変更し、4月1日 土曜日より屋外式コンテナ型喫煙所として開設をするものです。

今回設置をいたします屋外式コンテナ型喫煙所は、独立した建物のため喫煙者と非喫煙者の接触がなく、室内の集塵脱臭装置によりタバコの煙や臭いがほとんど室外に流出しないものです。

なお、県内での屋外式コンテナ型の公衆喫煙所の設置につきましては茨城県内で初めてとなります。

コンテナ型喫煙所の開設後、既存のパーティション型喫煙所については撤去をいたします。

次に、とりでバーチャル美術館〈とぼび〉公開についてです。

市が所蔵する立体美術作品を3D画像や360度画像で好きな角度から見られるホームページ「とりでバーチャル美術館〈とぼび〉」を3月27日 月曜日 午後1時より公開いたします。

市は、東京藝術大学における優秀作品に授与される取手市長賞受賞作品や日本画・洋画・書・彫刻・工芸品など多くの作品を所蔵しており、これらを多くの皆様にあらゆる場所からご覧いただけますように、とりでオンライン美術館をホームページ内で公開してきたところでございます。

今回のとりでバーチャル美術館〈とぼび〉につきましても、とりでオンライン美術館をさらに発展させるべく、新規に作成したものでございます。

立体作品を自分の好きな方向から見るができますので、是非、ご覧いただければと存じます。

次に、取手聖徳女子高等学校のリップバームがふるさと納税の返礼品に加わったことについてでございます。

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校では、環境問題や地域活性化への学びを通じて取手市を元気にしたいとの思いから、休耕地を活用してひまわりを育て、その種を原料としたリップバームをつくる活動 ひまわりプロジェクトを進めてきました。

この度、このリップバームをふるさと取手応援寄附金の返礼品として、3月27日 月曜日より寄付募集を開始いたします。

寄付募集額は5,500円で、ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」、「楽天ふるさと納税」、「ふるなび」、「ふるさとチョイス」に掲載して募集をしていくこととなります。

以上で、私からの説明を終わります。